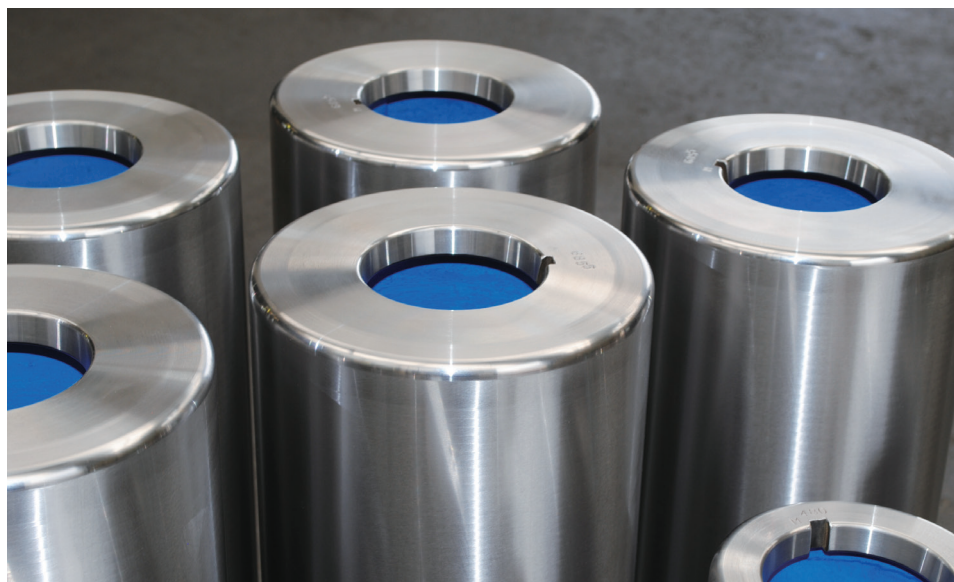


森脇鉄工 株式会社

グラビア印刷用シリンダーで 業界トップの地位を確立

納期
相談
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



グラビア印刷用シリンダー

主な事業内容

グラビア印刷用シリンダーの
専業メーカー

主な取引先(納入先)

グラビア印刷会社、
グラビア製版会社など

主な製品

グラビア印刷用シリンダー
およびそのリサイクル品

業務 内容

**印刷機械の最重要部品を
旋盤加工技術で支える**

森脇鉄工は、グラビア印刷用シリンダー(鉄芯)の専業メーカーとして長年、旋盤加工技術を蓄積してきた。シリンダーはグラビア印刷の版として、印刷データをフィルムに転写する印刷機械の最重要部品だ。グラビア印刷は主に、食品などの包装に使うフィルム印刷に用いられる。同社はシリンダーの国内シェアのうち、およそ10%を握り、業界トップの地位にある。森脇拓也社長の祖父が、勤めていた印刷機械メーカーから独立する形で昭和45年に起業し、創業した。創業当初は送風機などを主に製造していたが、近隣企業の依頼をきっかけにシリンダーを手がけるようになった。

強み 加工とリサイクルで 特徴ある製品を提供

同社は、製造品目をグラビア印刷用シリンダーに絞り、機械のNC(数値制御)化を進めるなど、品質と精度の向上に努めてきた。現在はCNC(コンピュータ数値制御)旋盤をはじめ、30台以上の機械を保有。生産量、機械保有台数ともに業界トップだ。

社長あいさつ



代表取締役社長
森脇 拓也さん

私たちの経営理念は①常に技術の向上を追求する②関わる全ての企業・人とともに成長、発展していく③強い信念を持ち、何事もやり通す——です。この理念を胸に、労働環境の改善や働き方改革を進め、国内トップのシェアを守りながら、従業員の雇用も守っていきます。

主な保有設備

- シリンダー収納用自動ラック
約1万本収納
トヨタL&F製 2機
- CNC旋盤(加工精度 1/100mm)
ヤマザキマザック製 14台
- 自動溶接機(φ400×1,800L)
パナソニック製 2台
- 円筒研磨機(φ400×1,500L)
ミラック製 4台
- バンドソー(最大 φ450mmまで
切断可能) アマダ製 3台

大阪
03

住 所 / 〒571-0015
門真市
三ツ島6-22-1
TEL / 072-887-3232
FAX / 072-887-3277
創 業 / 昭和45年6月
設 立 / 昭和45年6月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 32名

人材 確保

**さらに拡大する需要
独自制度で人材を確保**

同社製品の特徴は、シリンダーの内面に、劣化しないよう独自のコーティングを施しているである。また、シリンダーのリサイクルにも取り組んでいる。不要分を引き取り、管理、必要なサイズに加工したうえで、再び製品として提供するサービスを展開している。こうした強みを背景に、得意先は80社を超える。

森脇社長は「最近では食品だけでなく、医薬品や衛生用品、さらにはペットフードや、紙コップといった日用品にまで、グラビア印刷が広く用いられるようになっていく」と現在の潮流を語る。今後も同社のシリンダーに対する需要は、安定した伸びが期待できる。

課題は人材の確保だろう。「重い鉄芯を扱うため、厳しい仕事というイメージがあり、それを払しょくしたい」と森脇社長は展望を述べる。同社には独自のキャリアアップ支援制度があり、社外の研修を積極的に活用、資格取得も推奨している。また、ベトナムの技能実習生を5名採用し、日本人従業員の士気向上につなげる試みも行っている。



工場内風景



本社工場外観



<http://www.moriwaki-i.co.jp/>